

「子どもたちの未来のために」挑む

元日本代表の経営者

家業と地域事業の承継ストーリー



Interview

株式会社ベルニ 代表取締役／元バスケットボール日本代表

いとう

しゅんすけ

伊藤 俊亮さん

1980年生まれ、神奈川県出身。神奈川県立大和高校を経て、中央大学在学中の2001年にバスケットボール日本代表に選出。強靱な肉体と204cmの長身に走力を兼ね備えたフィジカルプレーヤーとして、大学卒業後はプロリーグで活躍、日本代表として長きにわたってプレーした。2018年、千葉ジェッツでのシーズンで最後に現役引退。千葉ジェッツのフロントスタッフを経て、不動産業を営む家業の株式会社ベルニを事業承継して代表取締役に就任。現在は家業とバスケットボール振興を中心に活動中。

【取材・文】 勝田 慶 中小企業診断士

【写真】 石田 紀彦 中小企業診断士



— The prologue

日本のバスケットボール界は、昨年のパリ五輪で男子が48年ぶりの自力出場を果たし、本場アメリカで活躍する選手も増加、女子も東京五輪で銀メダルを獲得し、男女とも国内リーグは盛り上がりを見せている。そのバスケットボール界で長く日本代表として活躍したのが、現在、解説者であり、家業である株式会社ベルニの代表を務める伊藤俊亮氏だ。

現役引退後、志半ばでの球団運営からの離脱、ゼロからの家業の事業承継、コロナ禍や物価上昇など多くの苦難を抱えながらの地域密着型フィットネスクラブの事業承継。セカンドキャリアとしての経営への挑戦は、決して順風満帆ではなかったように見える。そんな伊藤氏に、これまでの活動を経て感じた親族承継と第三者承継、地域密着型ビジネスの面白さや難しさを聞いた。